

令和5年3月23日  
原子力安全対策課  
(04-49)  
<15時資料配付>

## 高浜発電所4号機の原子炉起動と運転再開について (「PR中性子束急減トリップ」警報発信による原子炉自動停止)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

### 記

高浜発電所4号機(加圧水型軽水炉;定格電気出力87万kW)は、定格熱出力一定運転中の1月30日15時21分、「PR中性子束急減トリップ」<sup>※1</sup>の警報が発信し、原子炉が自動停止した。

調査の結果、警報発信の原因は、原子炉格納容器貫通部内で接続している電気ケーブルに接触不良が発生したことにより、制御棒駆動部<sup>※2</sup>のコイルに供給する電流値が低下し、制御棒1本が挿入されたため、中性子検出器の指示値が警報の設定値に至ったものと推定した。

対策として、電流低下が認められたケーブルを介さずに、予備用として敷設されている他のルートに変更する。また、ケーブル敷設時の注意事項を社内マニュアルに反映する。

※1 原子炉の周囲には、運転中の中性子を測定する検出器が4つ設置されている。中性子検出に異常があった場合、警報が発信する。

※2 制御棒は、上部で制御棒駆動軸と連結されており、駆動軸を動作させるために可動用と保持用のラッチ(爪)がある。ラッチにはコイルが取り付けられており、このコイルに通電することでラッチが駆動軸をつかむ状態となる。

[令和5年1月30日、2月15日、3月7日 記者発表済]

対策が完了したことから、今後、起動に向けた準備を進め、3月24日に原子炉を起動し、同日臨界に達した後、3月25日に発電を再開する予定である。

問い合わせ先(担当:宇野)  
内線2352・直通0776(20)0314